

市町村名	中城村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	民間事業者の活力を活かした新たなまちづくり促進事業	新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-1-(1)-ウ			
担当部署名	都市建設課	事業実施 (予定)年度	令和4年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	人と環境に優しいまちづくりの 推進		
事業内容	Ⅲ-11-1						
効果発現年度	地域課題や住民ニーズに即した商業施設を誘致することで、良好な住環境の確保、村内雇用の創出、村内農家の販路拡大、更に本村内にこれまでなかった交通結節点を整備し商業施設と連携させることで、交通弱者対策や多世代交流の促進など、魅力的で持続可能なまちづくりを推進する。						
実施方法	□当年度 ■後年度(R11～年度)						
	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		R4年度	R4年度(繰)	R5年度	R5年度(繰)	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	840,965		11,035		13,794
		(b)予算現額	579,246		9,086		13,035
		(c)増減額(b-a)	▲261,719	0	▲1,949	0	▲759
		(d)繰越額		548,954		9,086	
		A.計(b+d)	579,246	548,954	9,086	9,086	13,035
		B.執行済額	28,448	548,954	0	8,712	13,035
		うち交付金充当額	22,758	439,163	0	6,969	10,428
		次年度繰越額	548,954	0	9,086		
		執行率(%) (B/A)	4.9%	100.0%	0.0%	95.9%	100.0%
	予算の状況の説明	事業計画通り執行することができた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度		
	地区計画策定	目 標	()	(実施)	()	()	
		実 績		実施	実施		
	誘致戦略の策定	目 標	()	()	(実施)	()	
		実 績			実施		
	住民ニーズ調査の実施	目 標	()	()	(実施)	()	
実 績				実施			
達成 状況 説明	・予定していた誘致戦略の策定支援業務及び住民ニーズ調査業務を適切に実施できた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	地区計画策定の完了	目 標			完了		
		実 績			完了	完了	
	誘致戦略策定の完了	目 標				完了	
		実 績				完了	
	住民ニーズ調査に係る報告書策定の完了	目 標				完了	
		実 績				完了	
進 捗 状 況 説 明	・先進事例の調査、関係機関(商工会、観光協会等)へのヒアリング、事業者へのプレサウンディングを実施し、誘致戦略案を策定した。 ・住民、通勤通学者、生産者・製造業者へのニーズ調査を実施した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・先進事例調査、関係機関(商工会、観光協会等)へのヒアリング、事業者へのプレサウンディングなどを踏まえ、誘致戦略案の策定を行った。また、住民等へのニーズ調査を行った。 ・商業施設誘致予定地は、事業者へのプレサウンディングからも借地での利用が望ましいとの意見が多かった。	・誘致戦略案及びニーズ調査の結果を踏まえ、商業施設誘致のための公募条件の整理を行う必要がある。 ・商業施設誘致予定地の借地料算定を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
・民間事業者の公募を円滑に行うために必要な公募条件の整理、募集要項等の作成、市場調査の実施等を行い、令和8年度に事業者公募、選定、契約を実施する。 ・借地料算定のための不動産鑑定業務を実施する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
中城村 13,035千円 委託 13,035千円 デロイト・マツファイナンシャルアドバイザリー 合同会社 6,666千円 株式会社 インタープラン沖縄 6,369千円 中城村商業施設誘致戦略策定等支援業務委託 中城村商業施設誘致に関する住民ニーズ調査の企画運営業務委託														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>13,035</td><td>13,035</td><td>10,428</td><td>2,607</td><td>0</td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	13,035	13,035	10,428	2,607	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
13,035	13,035	10,428	2,607	0										
資金の流	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
使途の流れ、点検、評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザルによる選定を行っており妥当であるとする。 ○複数の見積もりを徴収し、価格の妥当性を確認しているため予算規模は適正であるとする。 ○費目、使途については業務完了時の検査において精査しており、妥当であったと判断する。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	中城村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	防災体制整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(4)-ア	
担当部署名	総務課	事業実施 (予定)年度	平成27年度～ 令和6年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	危機管理体制の強化	
Ⅲ-10-(3)							
事業内容	沖縄県は地震や台風等の自然災害が多く、本村は津波被害や土砂災害の危険性の高いことから、自然災害に強い村づくりを推進していくため防災基盤の整備を実施する。また、災害時に支援物資が届くまでの対応として食糧を備蓄し、住民の安心・安全を確保する。						
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度 (年度)						
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	770	0	0	0	135,051
		(b) 予算現額	770	0	0	0	135,051
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	0	0	0
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	770	0	0	0	135,051
	B. 執行済額		752	0	0	0	123,783
	うち交付金充当額		601	0	0	0	83,125
	次年度繰越額						
	執行率 (%) (B/A)		97.7%	#DIV/0!	#DIV/0!	#DIV/0!	91.7%
予算の状況の説明		事業計画通り執行することができた。不用額は入札残によるもの。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	防災行政無線機の整備一式	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
	防災放送アプリの導入	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
	食糧の備蓄 1,500食	目 標	()	()	()	(実施)	
		実 績				実施	
達成 状況 説明	防災行政無線親局、屋外子局1局の機器更新工事及び防災アプリの導入を計画通り実施することができた。 備蓄食糧についても、防災計画に基づく備蓄量を整備することができた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	防災無線難聴地域の解消	目 標	()	()	()	(1地区)	()
		実 績				1地区	
	非常食の備蓄率100%	目 標	()	()	()	(100%)	()
		実 績				100%	
	進捗 状況 説明	・親局および屋外子局1局の機能強化を実施し、当該子局の周辺住民において難聴が解消された。 ・防災計画に基づく備蓄量100%を整備することで防災体制を確保した。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	機能強化を実施した屋外子局1局について、工事完了後、現場にて実際の放送を確認したところ、以前の様な大音量で耳障りな音ではなく、聞き取りやすくはっきりとした音声を確認できたうえ、以前のスピーカーと比べより遠くまで音が伝わることで難聴地域を解消することができたと考える。	設置工事の際には事前に関係機関との連携を図り、周辺地域の安全を確保したうえで適切に工事を実施できたことから改善の必要はないものと考ええる。
今後の取り組み方針		
令和7年度以降も村内に整備している残りの屋外子局を5年計画で順次機器更新を行い、村全域での難聴地域解消に取り組む。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
中城村 123,783千円 備品購入 892千円 株式会社 オキジム 892千円 令和6年度災害時非常食整備事業 中城村 123,783千円 工事費 122,891千円 株式会社 宜野湾電設 122,891千円 令和6年度防災行政無線機器更新工事														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>123,783</td><td>123,783</td><td>83,125</td><td>40,658</td><td>0</td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	123,783	123,783	83,125	40,658	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
123,783	123,783	83,125	40,658	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・指名競争入札を実施して事業者を選定しているため、支出先の選定方法は適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・複数の見積もりを徴収し、価格の妥当性を確認しているため予算規模は適正であると考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途は事業目的に即したものである。											

市町村名	中城村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-①	吉の浦公園等施設機能強化整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－3－(9)－ア		
担当部署名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	平成28年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化			
事業内容	地域振興及び観光誘客を図るため、スポーツや文化振興の拠点として吉の浦公園等施設の整備を実施する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R7年度)							
実施方法	☒ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	44,434	46,398	40,130	100,065	
		(b) 予算現額	0	36,000	48,188	137,502	70,732	
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 8,434	1,790	97,372	▲ 29,333	
		(d) 繰越額	45,001	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	45,001	36,000	48,188	137,502	70,732	
	B. 執行済額		25,729	33,226	47,351	40,254	21,939	
	うち交付金充当額		20,583	26,581	37,880	32,203	17,550	
	次年度繰越額		0	0	0	94,798	28,259	
	執行率(%) (B/A)		57.2%	92.3%	98.3%	29.3%	31.0%	
予算の状況の説明		工事内容の見直しにより事業費が減額したため不用額が生じたが、予算は概ね適切に執行された。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ごさまる陸上競技場芝生の適正管理		目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実 績	実施	実施	実施	実施	
	吉の浦野球場照明LED化に向けた事前調査		目 標	()	()	()	(実施)	
			実 績				実施	
	防犯カメラの設置		目 標	()	()	()	(実施)	
実 績						繰越		
達成状況説明	・陸上競技場芝生適正管理業務について、継続した管理を実施し、プロサッカーチームがキャンプ地として利用した。 ・野球場照明のLED化に向け、支柱の劣化調査を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R7年度)
	プロサッカーチームの合宿誘致件数3件・大学チームのキャンプ受け入れ		目 標	()	(2チーム)	(2チーム)	(・プロ3チーム・大学1チーム)	()
			実 績		1チーム	3チーム	・プロ2チーム・大学1チーム	
	吉の浦野球場照明LED整備に係る調査の完了		目 標	()	()	()	(完了)	()
			実 績				完了	
	防犯カメラ設置の完了		目 標	()	()	()	(繰越)	()
			実 績				繰越	
	【参考指標】年間利用人数		目 標	()	()	()	()	(38,300人)
実 績								
進捗状況説明	・適正な芝管理事業を継続し、キャンプ地として相応しい環境整備を行ったことでプロサッカーチーム2チーム・大学生1チームの受入を実施し、観光誘客を促進することができた。 ・野球場照明のLED化に向けて、既設の支柱が使用可能か判断するため事前に劣化調査を実施した。当該評価に基づき、次年度以降にLED化工事に向けて取り組む。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・キャンプ受入れでは、チームのスケジュール都合が合わず受入れが出来なかった状況もあり目標の誘致件数には届かなかったが、良質な状態の芝を維持しキャンプ地として最適な環境を創出したことで複数チームの受入れができた。 ・社会人チームや学生の大会等での利用申し込みも多数あり、観光誘客につながる環境整備ができています。 ・野球場照明のLED化について、当初既設のコンクリート柱を使用する予定であったが、劣化調査の結果、支柱の立替えが必要と分かった。	・毎年キャンプ受入れ前に2カ月程芝生の養生期間が必要であり、当該期間について利用制限が生じることから、関係団体との事前調整・連携を行い、利用者の円滑な施設利用を確保するとともに、スムーズなキャンプ受入れに繋げる必要がある。 ・支柱の立替えには莫大な費用を要することから、財政状況を勘案しつつ、費用対効果を踏まえて実施について改めて検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
良質な芝の適正管理を継続して実施し、関係機関と連携しながら受入体制の強化に取り組むことで、プロサッカーチームキャンプの増・定着化により観光誘客を促進する。 野球場照明LED化については、支柱の立替えが必要となったため多額の費用を要することから、複数年に分けて工事を実施する。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		27,186	21,938	5,248
		交付金充当額	市町村負担金	
		17,550	4,388	
中城村 21,938千円 委託 11,440千円 東洋グリーン株式会社 沖縄営業所 11,440千円 中城村吉の浦公園ごさる陸上競技場芝生適正管理業務委託 工事 緑越 吉の浦公園防犯カメラ設置計画設計業務委託(交付対象外経費) 3,378千円 吉の浦公園野球場照明柱劣化調査業務委託(交付対象外経費) 1,870千円 報酬 8,258千円 技術嘱託員 2,798千円 清掃作業員 5,460千円 期末・勤勉手当 1,072千円 技術嘱託員 1,072千円 共済費 954千円 技術嘱託員 684千円 清掃作業員 270千円 旅費 214千円 技術嘱託員 85千円 清掃作業員 129千円				
資金の用途の点検・評価	評価	点検項目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○県内において実施ができる唯一の事業者であり、過去の実績等も勘案し、地方自治法第167条第1項第2号に基づき随意契約としている。	
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○予算は適正な規模であったと考える。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即して必要なものであったと判断した。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	中城村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	プロサッカーキャンプ支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-3-(9)-ア	
担当部署名	産業振興課	事業実施 (予定)年度	平成25年度～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	スポーツ関連産業の振興と地域の活性化	
事業内容	スポーツキャンプを通して、観光地としての魅力を発信し観光誘客を図るため、プロサッカーチームの冬季キャンプ誘致活動並びにキャンプ受入の歓迎イベントの開催、また円滑なキャンプ実施の為に警備を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	1,720	2,106	2,169	2,106	3,000
		(b)予算現額	1,720	1,903	2,169	2,106	3,000
		(c)増減額(b-a)	0	▲ 203	0	0	0
		(d)繰越額	0	0	0	0	
		A. 計(b+d)	1,720	1,903	2,169	2,106	3,000
	B. 執行済額		770	1,292	520	1,733	1,605
	うち交付金充当額		600	1,034	415	1,248	1,284
	次年度繰越額		0	0		0	
	執行率(%) (B/A)		44.8%	67.9%	24.0%	82.3%	53.5%
予算の状況の説明		令和6年度は執行率77.1%、不用額686千円であった。 不用額は横断幕等制作費用及び印刷製本費の実績減によるもの。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	プロサッカーチームの誘致活動の実施	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	キャンプ環境を確保するための支援を実施	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	グッズ販売やトレーニングマッチを開催	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	スタンプラリーを実施	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
達成 状況 説明	・本村のサッカーキャンプに係る受入体制の確保およびキャンプPR活動やキャンプ期間中の支援など、プロサッカーチームの誘致活動を実施した。 ・1～2月には1チームのキャンプを受け入れた。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	キャンプ見学者数	目 標	()	(8,640人)	(8,640人)	(9,000人)	()
		実 績		777人	2,219人	2,837人	
	進捗 状況 説明	・今年度も継続してプロサッカーチームを誘致することができたが、目標としていたチーム数の誘致が実現せず、誘致実績が1チームに留まったこともあり目標を達成をすることができなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	・継続して誘致活動やキャンプ支援事業を実施したが、受入れ調整を行ったチームとスケジュールや宿泊先の調整がつかず、誘致チーム数が1チームに留まった。 ・昨年度より誘致したチーム数は少ないながらも、昨年度のキャンプ見学者数2,219人を上回ることができたが、コロナ前水準の目標値であるキャンプ見学者数には至らなかった。	プロチームはもとより、見学者が「また行きたい」と思うような仕掛けが必要。 サッカーキャンプと本村の観光地を組み合わせた見学プランを組む等、これまで以上に観光資源を活用した施策を実施し見学者誘客を図る必要がある。
今後の取り組み方針		
2026年よりJリーグが現行の2月開幕の「春秋制」から「秋春制」へ移行されることに伴いウインターブレイク期間が導入される。 これまでは冬の時期にキャンプが実施されてきており、沖縄は本土に比べ気温が高いことからキャンプ地として利用されてきた背景があるが、今後のキャンプ時期を踏まえ、引き続き本事業を実施していくうえで課題整理を行い、効果的な誘致活動を展開する。 キャンプ見学と中城村の飲食や観光地に足を運ぶ企画等を検討し、キャンプ見学者数の更なる増加を目指す。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,314</td><td>1,605</td><td>1,284</td><td>321</td><td>709</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,314	1,605	1,284	321	709
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,314	1,605	1,284	321	709										
中城村 1,605千円 → 委託料 1,605千円 → 一般社団法人 中城村観光協会 1,605千円 （ プロサッカーキャンプ支援事業委託業務 ） （ 交付対象外経費 709千円 ）														
資金使途の流れ、点検・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・地方自治法施行令第167条の2第1項第2号に基づき随意契約としており、選定方法は妥当であると考える。 ・誘致チーム数は当初計画通りとならなかったが、実施状況から予算規模は妥当であると考える。 ・費用、使途においては、精算時に検査をしていることから必要なものに限定されていると考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	中城村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	観光地周辺環境美化事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(2)-ア		
担当部署名	都市建設課	事業実施(予定)年度	平成29年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所	「新しい生活様式/ニューノーマル」における安全・安心で快適な観光の推進 Ⅲ-1-(1)		
事業内容	観光地及び観光地へのアクセス道路の美化清掃を行い、観光客の満足度向上を図る。							
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度 (年度)							
実施方法	■ 直接実施 □ 委託 □ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	21,836	23,192	11,280	17,965	21,739	
		(b) 予算現額	20,387	20,036	11,280	17,965	25,560	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,449	▲ 3,156	0	0	3,821	
		(d) 繰越額						
		A. 計 (b+d)	20,387	20,036	11,280	17,965	25,560	
	B. 執行済額		20,387	20,036	11,259	18,478	25,802	
	うち交付金充当額		16,309	16,029	9,007	14,782	20,641	
	次年度繰越額							
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	99.8%	102.9%	100.9%	
予算の状況の説明		給与改定があったため報酬・期末勤勉手当が予定より増額となったが、計画通りに執行ができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	アクセス道路の美化清掃の実施		目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)	
			実 績		実施	実施	実施	
	環境美化作業員 9名		目 標	(6名)	(6名)	(9名)	(9名)	
			実 績	6名	6名	9名	9名	
達成状況説明	一年を通して観光地へのアクセス道路としての機能を維持することができた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	魅力的な観光地としての景観となっているか(80%以上)を含め、観光客等を対象としたアンケートにより、本事業のあり方について検証する。		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実 績		92%	86%	73%	
	進捗状況説明	作業員と情報を共有することで不快な状況箇所を把握し、観光地へのアクセス道路の環境美化を適切に実施することができた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	梅雨や台風時期になると作業に遅れが生じたが、概ね予定通り実施できた。ハンタ道については、草の成長の早い時期を想定し早めの対応を行ったが、草木の伸びが早く道路の延長も長いことから、ハンタ道全体を除草することに想定より時間を要した。今後はこれらを考慮のうえ計画的に作業工程を組み、効率よく実施できるように取り組む。 成果目標が未達成の理由として、除草計画と観光地でのイベント実施の時期を合わせることができず、イベント実施当日までに除草が間に合わず参加者が快適にアクセスできる環境が整っていなかったこと等が要因と考える。	ハンタ道については、草木の成長が早い時期を見越した作業工程を組む等、効率よく実施するための工夫が必要である。
今後の取り組み方針		
観光客が快適に観光地へアクセスできるよう作業員と定期的な現場確認・状況把握及び共有を図り、悪天候や台風後の現場の状況に応じて作業工程の見直しを行い効率的な作業を継続する。特にハンタ道は「歴史の道百選」に登録され問い合わせ件数が増加していることから、草木の成長の早い時期を見越した作業工程を組む。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
中城村 25,802千円 報酬(9名) 15,938千円 期末・勤勉手当(9名) 6,109千円 共済費(9名) 3,314千円 旅費(6名) 221千円 消耗品 220千円														
		<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>25,802</td><td>25,802</td><td>20,641</td><td>5,161</td><td>0</td></tr> </table>	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	25,802	25,802	20,641	5,161	0		
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
25,802	25,802	20,641	5,161	0										
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
使途の流れ、費目・	○	支出先の選定方法は妥当か。	○作業員の採用については村の条例規則に基づき雇用契約を行っており、妥当である。 ○予定していた事業は概ね実施できたことから、予算規模は適正であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、必要なものに限定されている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	中城村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④	中城護佐丸まつり事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-5-1-(ア)		
担当部課名	企画課	事業実施(予定)年度	平成25年度～令和12年度	沖縄振興基本方針該当箇所	地域を知り、学びを深める環境づくり			
					Ⅲ-1-1			
事業内容	地域経済の活性化を図り村の発展に資することを目的に、地域資源や文化遺産等を活かした観光振興事業として住民参加型イベントを開催する。							
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)							
実施方法	□ 直接実施 □ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			平成25年度	平成28年度	R1年度	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,000	10,000	16,452	21,497		
		(b) 予算現額	8,000	9,900	16,452	21,497		
		(c) 増減額(b-a)	0	▲ 100	0	0	0	
		(d) 繰越額						
		A. 計(b+d)	8,000	9,900	16,452	21,497	0	
	B. 執行済額		7,746	9,900	14,190	18,868		
	うち交付金充当額		6,196	7,920	11,352	15,094		
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		96.8%	100.0%	86.3%	87.8%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		計画的な予算執行に努め業務を実施することができた。不用額は実績に応じた精算によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				平成25年度	平成28年度	R1年度	R6年度	
	中城護佐丸まつり開催に係る運営費の補助		目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実 績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	地域資源や文化遺産等を活かした観光振興事業として、世界遺産を活かした観光イベントを目標どおり実施することができ(10/19、20の2日間)、観光客の誘客促進に繋げることができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	平成28年度	R1年度	R6年度	目標値(年度)	
	来場者数1日5,000人		目 標	()	(11,000人)	(9,500人)	(10,000人)	()
			実 績		8,595人	4,820人	7,646人	
	進捗状況説明	期間中、一部天候悪化があったことに加え、同時期・同日に近隣イベントも重なったことから、目標を下回る結果となったと考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	チラシやポスターの配布などに加え、新聞、ラジオ、各種SNSでの発信やイベント情報サイトへの掲載など、幅広く周知を行った結果、来場者の半数(アンケート結果による)を村外から誘客することが出来た。 他方で、開催時期が暑い、会場が坂で行きづらいなどの意見もあり、同時期・同日での近隣イベントも増えてきていることが来場者数目標の未達につながっていることが考えられる。	来場者数目標達成に向け、今回のアンケート結果も踏まえ、より観光振興の図れる開催時期や会場の検討を行っていく。
今後の取り組み方針		
これまで3年に一度であった開催頻度の見直しや開催時期、会場の選定など検討を進めていく。 あわせて、アンケートの分析からイベント内容の充実など、来場者数増加に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
中城村 18,868千円 中城護佐丸まつり実行委員会 補助金 18,868千円 (株)日本広告 18,778千円 (株)琉球保安警備隊 90千円 中城護佐丸まつり開催業務委託 中城護佐丸まつり警備業務委託				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		18,868	18,868	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		15,094	3,774	
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者はプロポーザルおよび指名競争入力で選定しており、妥当であったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○不用額は実行委員会の成果による受益者負担額の増によるものであり、予算規模は適正であったと考える。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業目的に即した費用を交付しており、実行委員会の経常経費等は受益者負担としていることから、負担関係は妥当であると考え。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。	

市町村名	中城村								
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】									
事業番号・事業名	3-①	海外移住者子弟研修生受入事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-4-(2)-(ア)			
担当部署名	企画課	事業実施(予定)年度	平成26年度～令和6年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交流基盤としてのウチナーネットワークの継承・発展			
						Ⅲ-7			
事業内容	海外と本村を結ぶ懸け橋となる人材の育成を図るため、海外に移住した中城村出身の子弟を研修生として受入れ、日本語研修・文化研修・地域交流等の交流プログラムを実施する。								
効果発現年度	■ 当年度 □ 後年度(年度)								
実施方法	■ 直接実施 ■ 委託 ■ 補助 □ 負担 □ その他()								
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	予算の状況	(a) 当初予算額	0	0	2,683	3,737	2,918		
		(b) 予算現額	0	0	2,403	2,332	1,142		
		(c) 増減額(b-a)	0	0	▲ 280	▲ 1,405	▲ 1,776		
		(d) 繰越額	0	0					
		A. 計(b+d)	0	0	2,403	2,332	1,142		
	B. 執行済額		0	0	2,191	2,349	1,066		
	うち交付金充当額		0	0	1,752	1,879	852		
	次年度繰越額		0	0					
	執行率(%) (B/A)		#DIV/0!	#DIV/0!	91.2%	100.7%	93.3%		
予算の状況の説明		当初、研修生受入3名にて予算計上していたが、辞退等により実績1名となったため予算を減額した。加えて辞退前に執行済みであった当該研修生分の経費が交付対象外となり、減額1,762千円となった。							
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度		
	受入れ人数3名以内			目 標	(受入実施)	(3人)	(3人)	(3名)	
				実 績	事業中止	2人	3人	1名	
達成状況説明	各国村人会へ推薦依頼を行うも、3名目標に対して2名のみの推薦となった。その後、2名の受け入れを決定し、航空券手配や研修準備を進めていたが、1名が辞退となったため1名のみの受入実施となった。1名での研修実施となったため、例年の村民交流等に加え、県や他市町村の留学生との交流機会や合同研修等の機会を増やすことで、多様な意見交換を行える場を確保した。								
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)	
	沖縄の文化や歴史により興味を持ったか(80%以上)を含め、子弟へのアンケートにより、本事業のあり方を検証する			目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
				実 績		100%	100%	100%	
	進捗状況説明	移民も2世、3世と世代が進み、移住先国での沖縄の文化や歴史の継承が困難となっている。今年度の研修生も3世であったが、ウチナーンチュアイデンティティについて学んでいく中で自身のルーツを再認識し、沖縄の文化や歴史を学ぶ意欲が強くなったことで目標達成につながった。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(受け入れ人数) 事業実施以降、初めて受け入れ人数が1名となった。応募者の内1名が辞退となったのは仕事の都合が要因であったが、募集3名に対して応募2名であったため、希望者の減少も考えられる。 (研修満足度) 村イベントへの参加など住民との交流機会増加も図り、研修生の沖縄の文化や歴史への興味を引き出すことができたと考えられる。帰国後も村人会からの活動報告でイベント運営補助などを行っていることが確認されており、今後の成果も期待できる。	研修希望者の減少が懸念されるが、他方で研修満足度は高く、研修に参加してもらえれば成果をあげることが出来ると考えられる。 今後は各国村人会との連携で、よりニーズを捉え、募集方法、研修時期、研修日数、研修内容など改善を図っていく。
今後の取り組み方針		
研修終了後に各国村人会や県人会での活動に携わるなど、人材育成は進んでいるため、各国村人会との連携を図り、参加希望者の増加に向けて改善を図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
中城村 1,478千円	委託 809千円	沖縄ツーリスト(株) 809千円		
	使用料 48千円	使用料		
		施設入場料		
	補助金 257千円	アルゼンチン国研修生 257千円		
	事務費 364千円	報償費、旅費、需用費、役務費 364千円		
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。		○委託先は地方自治法施行令第167条の2第1項第1号の規定に則り随意契約としており、妥当であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		○不用額はほぼ発生せず、適正な規模であった。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。		○要綱の定めのある事業目的に即した費用を交付しており、要綱外の費用においては受益者負担としていることから、負担関係は妥当であると考える。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○費目・使途については、額の確定時において支出等に関する書類により、確認し、適正であることを確認した。

市町村名	中城村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-①	学校ICT環境整備等による学習意欲学力向上推進事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(3)-イ			
担当部署名	教育総務課	事業実施 (予定)年度	平成24年度～ 令和13年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	Society5.0に対応する教育の推進		
Ⅲ-3-(1)								
事業内容	ICTを使用したわかりやすい授業を実施することによる学校教育の質の確保及び教員のICT機器活用の習熟を図るため、授業支援やICT機器活用に向けた環境整備を行う。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	50,220	41,297	2,861	15,840	24,225	
		(b)予算現額	34,589	58,897	2,922	13,860	23,491	
		(c)増減額(b-a)	▲15,631	17,600	61	▲1,980	▲734	
		(d)繰越額						
		A.計(b+d)	34,589	58,897	2,922	13,860	23,491	
	B.執行済額		34,589	58,352	2,921	13,860	23,491	
	うち交付金充当額		27,671	46,681	2,336	11,088	18,792	
	次年度繰越額		0	0	0	0		
	執行率(%) (B/A)		100.0%	99.1%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		教育環境支援ソフトを導入したため前年度より予算額が増となった。 事業計画通り執行することができた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	ICT支援員の派遣		目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
			実 績	実施	実施	実施	実施	
	ICT機器を使用した授業支援		目 標	()	()	(実施)	(実施)	
			実 績			実施	実施	
達成 状況 説明	村内すべての学校へICT支援員の巡回訪問を実施し、ICT機器、支援ソフトを活用した授業支援等を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	・児童生徒にアンケートを実施し、ICT機器を活用した授業が分かりやすかったと答えた割合:80%以上		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実 績		95.1%	95.6%	83.63%	
	・教員にアンケートを実施し、ICT支援員の配置により、ICT機器の習熟度が上がったと答えた割合:80%以上		目 標	()	(80%)	(80%)	(80%)	()
			実 績		98.8%	99.2%	91.86%	
	進捗 状況 説明	R6年度より教育環境支援ソフトを導入し、タブレットを使用した授業を実施することで学習ドリル教材の活用促進を行った。 児童生徒へのアンケートは目標値80%に対して実績値83.63%、教員へのアンケートは目標値80%に対し91.86%と目標を達成した。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	教育環境支援ソフトを導入し授業内容の充実を図った。 文字入力について、年度初めと比較し、年度終わりには児童生徒の100%が問題なく入力できている。 児童生徒の授業理解度および教員のICT機器の習熟度が高く一定の成果が表れている。巡回訪問を実施し個別のケースにも細かく対応できたことが要因と思われる。	ICTによる理解力を深め、学習ドリル等を活用し学習効率を上げることで学習向上を図る必要がある。 教育環境支援ソフトの更なる活用を促進するとともに、急速に進むICT教育環境に児童生徒が対応できるよう継続した取組が必要である。
今後の取り組み方針		
授業において積極的に学習ドリル等を活用し、楽しみながら実践的な学習ができる機会を増やすとともに、教育環境支援ソフトの機能を活用して授業を円滑に進めることで生徒の学習効率向上を図る。 また、児童生徒がICT化にスムーズに対応できるよう、引き続き教員のICTスキルの習熟度を高めるために支援を実施していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>23,491</td><td>23,491</td><td>18,792</td><td>4,699</td><td>0</td></tr> </table> 中城村 23,491千円 委託料 23,491千円 (株)興洋電子 23,491千円 中城村ICT教育推進事業					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	23,491	23,491	18,792	4,699	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
23,491	23,491	18,792	4,699	0										
資金の流	評価	点検項目	評価に関する説明											
資金の流 点検・ 評価	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札により選定しており妥当であったと考える。 ○予算規模については、前年度より大幅な増となっているが、教育環境支援(支援ソフト)導入のための増額であり、適正な予算規模であったと考えている。 ○事業目的達成の観点から、事業は適切に実施されており事業に必要なものとして適正である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	中城村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	きめ細かな児童生徒支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章－5－(2)－エ		
担当部課名	教育総務課	事業実施(予定)年度	平成24年度～令和13年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代の変化に対応する魅力ある学校づくりの推進		
					Ⅲ－3－(1)		
事業内容	特別な支援を要する児童生徒の学校生活や学習上の困難の改善を図るため、村内幼小中学校に特別支援員を配置し支援を行うとともに、不登校など課題のある児童生徒の改善を図るため、教育相談員と心理相談員を配置し支援を行う。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」＋「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	44,368	39,180	35,492	33,975	49,096
		(b) 予算現額	41,098	29,136	29,919	27,491	45,481
		(c) 増減額(b-a)	▲ 3,270	▲ 10,044	▲ 5,573	▲ 6,484	▲ 3,615
		(d) 繰越額					
		A. 計(b+d)	41,098	29,136	29,919	27,491	45,481
	B. 執行済額		41,098	29,136	29,919	27,880	45,525
	うち交付金充当額		32,878	23,308	23,935	22,304	36,419
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	101.4%	100.1%
予算の状況の説明		支援員の産休や年度途中での退職により予算額が減になったが、目的通り適切に執行された。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度
	特別支援員配置 10人 小学校 8人 中学校 2人	目 標	(幼稚園2人 小学校6人 中学校1人)	(幼稚園2人 小学校7人 中学校1人)	(小学校7人 中学校1人)	(小学校8人 中学校2人)	
		実 績	幼稚園2人 小学校6人 中学校1人	幼稚園2人 小学校7人 中学校1人	小学校7人 中学校1人	小学校8人 中学校2人	
	相談員の配置 教育相談員 3人 心理相談員 1人	目 標	(教育相談員3人 心理相談員1人)	(教育相談員2人 心理相談員1人)	(教育相談員3人 心理相談員1人)	(教育相談員3人 心理相談員1人)	
実 績		教育相談員3人 心理相談員1人	教育相談員2人 心理相談員1人	教育相談員3人 心理相談員0人	教育相談員3人 心理相談員1人		
達成状況説明	・当初の予定通り特別支援員と心理相談員を配置し、該当児童生徒が落ち着いて学校生活を送れるよう個々に合わせたサポートを実施することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(年度)
	特別支援員の対応への満足度(70%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(70%)	(70%)	(70%)	()
		実 績		95%	90%	94%	
	不登校児童生徒復帰率37%以上	目 標	()	(42%)	(41%)	(37%)	()
		実 績		45%	42%	27%	
	進捗状況説明	・保護者アンケートで満足度が94%と高い評価を得られた。 ・R6年度より心理相談員を採用できたが、不登校児童生徒復帰率について、小学校では目標値を達成できたが、中学校については目標を達成できなかった。					

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(特別支援員アンケート)支援員の声掛け、サポートにより安心して学習に取り組めるようになったなどの効果があった。今後も特別支援員の研修を通して支援の質を高める取組を行っていく。	・児童生徒の直接的な支援や教諭との連携だけでなく、保護者に対しても情報共有を行い学校と家庭の両方からの支援に繋げる。
	(不登校児童生徒復帰率)令和6年度より心理相談員が確保でき教育相談を行ったが不登校復帰率は目標を達成することが出来なかった。目標に届かなかった背景として、多様な家庭環境、いじめや人間関係のトラブルなど様々であり、学校だけでは難しいケースが多いことが考えられる。また、不登校児童生徒人数が増えている現状があるため、教育相談・心理相談を通じて継続して連携を図っていく必要がある。	・心理相談員を継続的に配置することで、新規不登校児童生徒の発生の未然防止、初期対応の充実に図る。また、不登校児童生徒との信頼関係を築き、行動連携が図れる支援体制を構築する。
今後の取り組み方針		
今後も、支援が必要な児童生徒が学校教育を当たり前に受けられるよう、以下の取り組みを継続して行う。 ・児童の面談だけでなく保護者に授業参観をしてもらい、児童生徒の様子をみてもらいながら保護者との情報共有を図る。 ・相談員を継続的に配置し、不登校児童生徒の情報共有に加え、計画的・継続的な支援ができるよう、担任、管理職とともに連携を取りながら復帰に向けた取組を実施する。		

資金の流れ						
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		45,926	45,525	36,419	9,106	401
中城村 45,525千円 (報酬14人) 28,820千円 特別支援員及び相談員14人 小学校 8人 中学校 2人 教育相談員3人 心理士1人 交付対象外経費 110千円 (職員手当等14人) 10,070千円 特別支援員及び相談員14人 小学校 8人 中学校 2人 教育相談員3人 心理士1人 交付対象外経費 291千円 (共済費14人) 6,200千円 特別支援員及び相談員14人 小学校 8人 中学校 2人 教育相談員3人 心理士1人 (旅費12人) 435千円 特別支援員及び相談員12人 小学校 6人 中学校 2人 教育相談員3人 心理士1人						
資金の 使途の 流れ、 費目・ 評価	評価	点 検 項 目			評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。			・支援員の採用については村の条例規則等に基づき雇用契約を行っており、妥当であったと考える。 ・人件費について、村の条例規則等に基づき決定しているため予算規模は適正であったと考える。 ・費目、使途については、目的達成に必要な人件費当に充当し限定している。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。				
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。				
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				

市町村名	中城村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	4-③	学力向上のための学習支援事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-5-(2)-ア		
担当部署名	教育総務課	事業実施 (予定)年度	平成29年度～ 令和13年度			確かな学力を身につける教育 の推進		
					沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-3-(1)		
事業内容	村内中学校に学習支援員を配置し、数学を中心とした学習支援を実施することで、学力の向上を図る。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	7,524	4,763	4,894	6,035	6,943	
		(b)予算現額	7,524	4,763	4,894	5,069	6,821	
		(c)増減額(b-a)	0	0	0	▲ 966	▲ 122	
		(d)繰越額						
	A. 計(b+d)		7,524	4,763	4,894	5,069	6,821	
	B. 執行済額		7,524	4,763	4,894	4,205	6,174	
	うち交付金充当額		6,019	3,810	3,915	3,364	4,939	
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	83.0%	90.5%	
予算の状況の説明		年度途中の支援員の退職で不用額が生じたが、目的通り適切に執行された。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	学習支援員配置 中学校2人		目 標	(中学校2名)	(中学校2名)	(中学校2名)	(中学校2名)	
			実 績	中学校2名	中学校2名	中学校2名	中学校2名	
達成 状況 説明	学習支援員を2人配置し、学習に課題を持つ生徒に対して学習支援を実施した。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	沖縄県学力到達度調査(数学)において、県との平均正答率差-2.4ポイント以上		目 標	()	(差-5.6P 以上)	(差-5.0P 以上)	(差-2.4P 以上)	()
			実 績		差-0.7P	差1.4P	差-1.2P	
	進捗 状況 説明	教科担任との連携を図り資質を向上することで安定的な学力向上につながっている。平均正答率は差-1.2Pで目標を達成することが出来た。						

市町村名	中城村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	子育て保育支援事業		新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-2-(2)-ア		
担当部課名	こども課	事業実施 (予定)年度	平成29年度～ 令和6年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	誰もが安心して子育てができる 環境づくり		
	Ⅲ-3-(1)						
事業内容	心身に障がいのある児童や発達に遅れのある児童等、支援が必要な児童を保育所等で受入れるために、加配保育士に対する支援を行い、一般の児童と共に集団保育を行う体制を構築する。						
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 ■補助 □負担 □その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 〔「交付金」+ 「市町村負担」 ベース〕		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	47,061	43,935	52,241	65,411	67,190
		(b)予算現額	34,801	44,066	51,830	48,085	54,009
		(c)増減額(b-a)	▲12,260	131	▲411	▲17,326	▲13,181
		(d)繰越額					
		A.計(b+d)	34,801	44,066	51,830	48,085	54,009
		B.執行済額	34,801	44,066	51,830	45,596	53,262
		うち交付金充当額	27,841	35,253	41,464	36,477	42,609
		次年度繰越額					
		執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.0%	94.8%	98.6%
	予算の状況の説明	当初の計画通り適正に執行した。 加配が必要な園児数について、当初想定していた人数が減少したことで予算額を減額した。 なお、不用額は、私立保育施設への補助事業における精算による。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	加配保育士 25名	目 標	(加配職員数21名)	(加配職員数24名)	(加配職員数27名)	(加配職員数25名)	
		実 績	加配職員数22名	加配職員数26名	加配職員数22名	加配職員数24名	
	達 成 状 況 説 明	目標人数を下回る配置人数となっているが、これは実際の受入園児数が当初想定していた園児数を下回ったことによるものであり、支援が必要な児童に対しては不足なく加配保育士を配置できており、一般の児童と共に集団保育を行う体制の構築ができた。					
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (年度)
	保育園での生活の困難が改善されたか(80%以上)を含め、保護者へのアンケートにより、本事業のあり方について検証する。	目 標	()	(80%以上)	(80%以上)	(80%以上)	()
		実 績		95%	94%	92%	
		進 捗 状 況 説 明	対象児の保護者アンケートの結果92%が「良かった」と回答しており、加配保育士を配置し手厚く支援することは効果的であった。また、加配保育士向けに研修会を実施したほか、心理士の個別訪問により助言・指導を行い加配保育についての理解向上を図った。				

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	加配保育の成果について、目標を上回る結果を得ることができた。加配保育士が対象児をサポートすることで、保護者の不安の軽減につながったことが要因と考える。	様々な障害を持つ児童が年々増加していることや、施設によって加配保育の経験がない保育士がいる為、加配保育の内容に差が生じることがあることに加え、保護者への対応について苦慮している施設がある。そのため、加配保育士向けの研修の開催や保護者からの意見を共有できるように定期的に情報交換会の実施し、加配保育の質の向上を図っていく必要がある。
今後の取り組み方針		
引き続き加配対象児童を受け入れるため、施設への支援を継続して実施し、他の児童と共に集団保育を行っていく。 また、今後も加配保育士の研修や情報交換会を定期的の実施するとともに、保護者や児童への対応などについて指導や助言を行うことで加配保育の質の向上を図る。		

資金の流れ																
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<table><tr><th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th>交付金</th><th>市町村</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr><tr><th>充当額</th><th>負担金</th></tr><tr><td>53,262</td><td>53,262</td><td>42,609</td><td>10,653</td><td>0</td></tr></table>					総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村	交付対象外経費	充当額	負担金	53,262	53,262	42,609	10,653	0
総事業費	交付対象事業費	交付金	市町村	交付対象外経費												
		充当額	負担金													
53,262	53,262	42,609	10,653	0												
中城村 53,262千円	報酬 14,914千円	加配保育士(6名) 14,914千円														
	職員手当 5,802千円	加配保育士(6名) 期末手当2,983千円 勤勉手当2,486千円														
		加配保育士(3名) 退職手当 333千円														
	共済費 3,375千円	加配保育士(6名) 3,375千円														
	通勤手当 266千円	加配保育士(6名) 266千円														
	補助金 28,905千円	認定こども園ひよこの家 5,760千円	(中城村特別保育支援事業)													
		はるゆめこども園 4,365千円	(中城村特別保育支援事業)													
		平安幼稚園 2,119千円	(中城村特別保育支援事業)													
		クリスマス教育センター幼稚園 1,440千円	(中城村特別保育支援事業)													
		夢の国こども園 1,840千円	(中城村特別保育支援事業)													
中城みなみ保育園・幼稚園 10,920千円		(中城村特別保育支援事業)														
ひらやす保育園 1,029千円		(中城村特別保育支援事業)														
	中城ひらやすこども園 1,432千円	(中城村特別保育支援事業)														
資金の 使途の流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目		評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。		・補助事業者は支援が必要な子の受け入れが可能な施設であるため、妥当であると考えている。 ・加配保育士の配置人数に基づき事業費の算出を行うことから、予算規模は適正であったと考える。 ・補助事業の実施にあたり、補助上限額を設定していることにより一定の事業者負担が生じることから、負担関係は妥当であると考えている。 ・費目、使途については精算段階で検査を実施しており、額の確定時において検査を実施し、適正であることを確認した。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	中城村									
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	4-⑥		オンライン英会話学習支援事業				新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所		第4章-5-(3)-ア	
担当部署名	生涯学習課			事業実施(予定)年度	令和5年度～令和13年度		沖縄振興基本方針該当箇所		国際感覚を身に付ける教育の推進	
									Ⅲ-3-(1)	
事業内容	村内の小学生(5・6年生)及び中学生を対象としてアメリカ州立大学の英語講師とオンラインによる実用的な英会話学習を実施する。									
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)									
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()									
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)	予算の状況				R5年度		R6年度			
			(a)当初予算額		7,027		6,852			
			(b)予算現額		7,027		6,852			
			(c)増減額(b-a)		0		0		0	
			(d)繰越額							
	A. 計(b+d)		7,027		6,852		0		0	
	B. 執行済額		4,736		7,163					
	うち交付金充当額		3,616		5,730					
	次年度繰越額									
	執行率(%) (B/A)		67.4%		104.5%		#DIV/0!		#DIV/0!	
予算の状況の説明		計画通りに事業を執行した。 執行額について、ドル/円為替レートの変動に伴う事業費の増額補正を行った。								
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)				達成状況					
					R5年度		R6年度			
	中学クラス:前期32回、後期32回 小学クラス:前期32回、後期32回				目標	(64回)	(64回)	()	()	
					実績	40回	64回			
達成状況説明	当初の計画通り、中学生・小学生を対象にそれぞれ前期32回・後期32回の計64回のオンライン英会話学習を実施した。									
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)				基準値(年度)	R5年度	R6年度	目標値(年度)		
					目標	()	100.00%	100.00%	()	()
	・英語習熟度(期末テスト)で講座を受けた生徒全員80点以上(100点中)の割合				実績		82.35%	70.58%		
	進捗状況説明	63回目の英会話授業において期末テストを実施し、受験者17名のうち12名が目標の80/100点を達成した。 受験者の平均得点率は小学生クラスが82.3%、中学生クラスが82.5%、全体平均82.4%であった。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(期末テスト得点達成率・出席率) 受験者17名のうち12名が目標を達成しており、概ね良好な結果となった一方で、部活動などにより授業の出席回数が少ない生徒が生じており、成果目標を達成しなかった要因として学習の成熟度が高まらなかったことが考えられる。	(期末テスト得点達成率・出席率) 授業毎にフォローアップを実施し、得点率の向上を図る。 出席率が低い生徒、また欠員が生じた場合への対応として、スクリレなど連絡ツールなどを活用して定期的に募集を行い、継続的な受講者の受入を図る。
今後の取り組み方針		
参加生徒の継続的な出席が課題となっており、欠席が続く生徒の学習意欲の確認を重視しながらも、退出となった場合への対応として村ホームページや学校の連絡ツールなどを活用して恒常的な参加生徒の募集・受付を行っていく。 授業内容の理解度を深め、習熟度・得点率の向上を図るため、生徒が苦手とする部分を重点的に指導する。また、欠席が続く生徒に対してのフォローアップを充実させ、質の向上を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,424</td><td>7,163</td><td>5,730</td><td>1,433</td><td>261</td></tr> </table> 中城村 7,163千円 委託料 7,163千円 DOTESolutions株式会社 7,163千円 中城村小学生・中学生オンライン英会話 学習支援事業 対象外経費 261千円					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,424	7,163	5,730	1,433	261
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,424	7,163	5,730	1,433	261										
資金の 使途の 流れ 検 査 ・ 費 目	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・事業性質や実績及び学習環境の確保を考慮したうえで事業者を選定しており、選定方法は適正だと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・為替の変動による事業費の増額があったが、全体的な予算としては妥当な額である。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受講回数に応じた受講料を徴収しており、受益者との負担関係は妥当である。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・使途については、額の確定時において検査を実施し、適正であることを確認した。											

市町村名	中城村									
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】										
事業番号・事業名	5-①		歴史的資料整理公開活用事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所		第4章-1-(4)-ア		
担当部署名	企画課			事業実施 (予定)年度	令和4年度～ 令和9年度		沖縄振興基本方針 該当箇所		沖縄の文化の源流を 確認できる環境づくり	
									Ⅲ-3-(3)	
事業内容	米軍関係者が撮影した1万5千点近くに及ぶ沖縄の写真・映像等資料の整理を行う。 中城村や沖縄の貴重な歴史を広く発信するため、これら資料を活用した展示会を開催し平和教育の促進を図る。									
効果発現年度	■当年度 ■後年度(令和9年度)									
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()									
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R4年度		R5年度		R6年度			
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	12,545		30,149		18,260			
		(b)予算現額	12,663		27,943		17,496			
		(c)増減額(b-a)	118		▲ 2,206		▲ 764		0	
		(d)繰越額								
	A. 計(b+d)		12,663		27,943		17,496		0	
	B. 執行済額		11,679		28,425		17,173			
	うち交付金充当額		9,343		22,740		13,738			
	次年度繰越額									
	執行率(%) (B/A)		92.2%		101.7%		98.2%		#DIV/0!	
予算の状況の説明		計画通り適正に執行することができた。								
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)			達成状況						
					R4年度	R5年度	R6年度			
	・資料の情報収集・調査・分析			目 標	()	(実施)	(実施)	()		
				実 績		実施	実施			
	・展示会の開催			目 標	(実施)	()	(実施)	()		
				実 績	実施		実施			
達成 状 況 説 明	・歴史的資料の活用公開に向け、資料のタイトル付与作業等の整理を行った。 ・整理した資料を活用した約一ヶ月間の展示会を開催し、平和教育の促進を図った。									
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R9年度)		
	・公開優先度の高い資料のタイトル付与作業の完了			目 標	()	(-)	(-)	(完了)	()	
				実 績		-	-	完了		
	・展示会の開催:来場者数4,000人			目 標	()	(3,000人)	(-)	(4,000人)	()	
				実 績		4,111人	-	3,633人		
	【参考指標】 公開システムによる資料の公開			目 標	()	()	()	()	(実施)	
				実 績						
	進 捗 状 況 説 明	・デジタルアーカイブの公開に向け、スケジュール通りタイトル付与作業を完了した。 ・展示会を実施し多くの方に来場いただいた。目標人数には届かなかったが、貴重な資料の発信および当時を知る方々から情報を収集することができた。								

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	【資料タイトルの付与作業】 資料に優先順位をつけ、作業を分担することでスケジュール通り作業が完了した。 【展示会】 ・ポスターだけでは展示会の内容(取り扱っている写真の時代、場所等)が伝わりづかったことが、目標人数に届かなかった要因だと思われる。 ・目標人数には届かなかったが、写真に関連する地域の自治体への広報を行ったことで、その地域の来場者からの情報提供につながった。また、展示会場に担当者が常駐したことで来場者から直接話を聞き、情報を収集することができた。	【デジタルアーカイブ公開に向けての作業】 ・調査員で調査、公開用データの作成など担当業務を分担し、効率よく作業を進める必要がある。 【展示会】 ・ポスターは展示会の内容が伝わるように作成する。 ・展示に関連する市町村や自治会への広報を積極的に行う。
	今後の取り組み方針 令和9年度のデジタルアーカイブ公開に向けて、資料の調査・公開用データ作成の業務を分担する等、調査員の作業工程を再編し効率よく進める。 展示会においては、他市町村や過去の展示会などを参考にするとともに、写真や文字のサイズ等のレイアウトを見直し、展示内容が容易に伝わるような構成とする。また、他市町村や各市町村の自治会等を通じて住民に対して広報を行い集客に繋げる。	

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
中城村 17,173千円	報酬 8,603千円	会計年度任用職員(4名) 8,603千円	令和6年度写真展空間設計業務委託 令和6年度写真展チラシ・ポスター印刷業務 令和6年度写真展図録印刷業務	総事業費 17,173
	職員手当 3,549千円	会計年度任用職員(4名) 期末手当2,004千円 勤勉手当1,545千円		交付対象事業費 17,173
	共済費 1,863千円	会計年度任用職員(4名) 1,863千円		交付金充当額 13,738
	通勤手当 249千円	会計年度任用職員(4名) 249千円		市町村負担金 3,435
	需用費 18千円	消耗品 18千円		交付対象外経費 0
	委託料 2,101千円	丸正印刷 株式会社 2,101千円		
	役務費 57千円	通信運搬費 57千円		
	印刷製本費 733千円	丸正印刷 株式会社 733千円		
資金の 用途の 流れ・ 点検・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札で選定しており、妥当と考える。 ○不用額はほぼ発生せず、予算は適正な規模であった。 ○費目・用途については、精算の際に検査を実施し、適正であると判断した。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	中城村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	5-②文化財整備事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-1-(4)-ア 沖縄文化の継承・発展・普及		
担当部課名	生涯学習課	事業実施(予定)年度	令和4年度～令和6年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-3-(2)		
事業内容	村内の文化財を広く活用し村の歴史・文化の継承を図ることを目的に、貴重な指定文化財に案内板や説明板を設置し文化財のさらなる活用を図るとともに、地域への文化財保護意識の高揚を図る。						
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R7年度)						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 （「交付金」+「市町村負担」ベース）		R4年度	R5年度	R6年度			
	予算の状況	(a) 当初予算額	8,802	6,725	2,160		
		(b) 予算現額	6,050	6,725	600		
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2,752	0	▲ 1,560	0	
		(d) 繰越額	0	0			
		A. 計 (b+d)	6,050	6,725	600	0	
	B. 執行済額		6,050	4,263	600		
	うち交付金充当額		4,840	3,410	479		
	次年度繰越額						
	執行率(%) (B/A)		100.0%	63.4%	100.0%	#DIV/0!	
予算の状況の説明		工事内容の見直しに伴い工事費及び委託料を1,560千円減額したが、適正に予算執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R4年度	R5年度	R6年度	R7年度	
	「伊舎堂のマーチュウグワ」の保存工事に 向けた調査設計と測量の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
	文化財整備工事の実施	目 標	(実施)	()	()	()	
		実 績	実施				
	「伊舎堂のマーチュウグワ」の保存工事の実 施	目 標	()	(実施)	()	()	
		実 績		実施			
	「県道開削記念碑」案内板の設置工事の実 施	目 標	()	()	(実施)	()	
		実 績			実施		
達成状況説明	当初予定していた取組内容について一部変更を行った。 案内板設置にあたり、関係機関と連携を取りながら進め、適正に執行することができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値 (R7年度)
	「伊舎堂のマーチュウグワ」の保存工事に 向けた調査設計と測量の完了	目 標	()	(調査設計と 測量の完了)	()	()	()
		実 績		調査設計と 測量の完了			
	文化財整備工事の完了	目 標	()	(文化財整備 工事の完了)	()	()	()
		実 績		文化財整備 工事の完了			
	「県道開削記念碑」「安里のムラガー」の見学 者	目 標	()	()	(各100人)	()	()
		実 績			県道開削記念碑 150人		
	「伊舎堂のマーチュウグワ」の保存工事の実 施	目 標	()	()	(工事の完了)	()	()
		実 績			工事の完了		
	「県道開削記念碑」案内板の設置工事の完了	目 標	()	()	()	(完了)	()
		実 績				完了	
	【参考指標】 年間見学者数	目 標	()	()	()	()	(1,000人)
		実 績					
	【参考指標】 社会見学等での活用	目 標	()	()	()	()	(年3回)
		実 績					
進捗状況説明	「県道開削記念碑」の案内板の設置工事を計画どおり完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	(「県道開削記念碑」案内板の設置工事の完了) ・県道開削記念碑は、碑文の内容を記した解説板を設置したことで文化財への理解を深めることができるようになった。 ・見学スペースが狭小であるため、団体等の多数の見学者にとって訪れにくい場所とならないよう対策が必要である。	(「県道開削記念碑」案内板の設置工事の完了) ・県道開削記念碑は見学スペースが限られているため、班分けを行い時間差で見学するなどの工夫が必要である。
今後の取り組み方針		
・地域学習や文化財巡り等のコースとして設定するほか、中城村のホームページやブログ等で情報発信、認知度向上を図り、多くの人に観覧してもらうことで地域の文化・歴史を伝えていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)															
<table><tr><td>総事業費</td><td>交付対象事業費</td><td>交付金充当額</td><td>市町村負担金</td><td>交付対象外経費</td></tr><tr><td>600</td><td>600</td><td>479</td><td>121</td><td>0</td></tr></table> 中城村 600千円 工事費 600千円 株式会社 アドイースト 600千円 令和6年度文化財整備工事						総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	600	600	479	121	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費											
600	600	479	121	0											
資金の流れ、点検、評価項目	評価	点検項目	評価に関する説明												
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○施工業者は3者から見積を徴した結果、最低価格を提示した者を選定しており妥当と考えている。 ○複数の見積もりを徴収し、価格の妥当性を確認しているため予算規模は適正であると考え。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと考える。												
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。													
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。													
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。													

市町村名	中城村						
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	6-①	中城村農業振興推進事業			新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(7)-オ	
担当部署名	産業振興課	事業実施(予定)年度	平成30年度～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林水産業のイノベーション創出及び技術開発の推進		
					Ⅲ-1-(4)		
事業内容	本村の主要品目の生産振興及び新たな推奨品目の検討にむけ栽培試験を行う。また、営農指導員による営農指導により生産技術の普及を図る。						
効果発現年度	□当年度 ■後年度(R8年度)						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	5,808	5,895	6,252	6,382	10,889
		(b) 予算現額	5,400	5,945	6,252	6,382	11,374
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 408	50	0	0	485
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	5,400	5,945	6,252	6,382	11,374
		B. 執行済額	5,400	5,945	6,275	6,787	11,354
		うち交付金充当額	4,320	4,756	5,020	5,429	9,083
		次年度繰越額					
		執行率 (%) (B/A)	100.0%	100.0%	100.4%	106.3%	99.8%
	予算の状況の説明	事業計画通り執行することができた。					
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況				
			R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	重点品目の試験栽培の実施	目 標	()	(試験栽培実施)	(試験栽培実施)	(試験栽培実施)	
		実 績		試験栽培実施	試験栽培実施	試験栽培実施	
	推奨品目の検討にむけた栽培試験を実施	目 標	()	(試験栽培実施)	(試験栽培実施)	(試験栽培実施)	
		実 績		試験栽培実施	試験栽培実施	試験栽培実施	
	営農指導員の配置	目 標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)	
		実 績	1人配置	1人配置	1人配置	1人配置	
	営農指導員補助員の配置	目 標	(1人)	(1人)	(1人)	(1人)	
		実 績	1人配置	1人配置	1人配置	1人配置	
バックホーの貸出	目 標	()	()	()	(実施)		
	実 績				実施		
	目 標	()	()	()	()		
	実 績						
達成状況説明	・営農指導員1名及び営農指導員補助員1名を採用し、重点品目の試験栽培及び営農指導を実施した。 ・推奨品目の検討に向けた栽培試験を実施した。 ・農業者支援へバックホーの貸出を行い農作業の省力化に努めた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R8年度)
	農業指導員及び補助員の配置	目 標	()	(配置)	(配置)	(配置)	()
		実 績		配置	配置	配置	
	主要品目の栽培試験の実施	目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)	()
		実 績		実施	実施	実施	
	新たな推奨品目の栽培試験の実施	目 標	()	(実施)	(実施)	(実施)	()
		実 績		実施	実施	実施	
	バックホーの稼働率	目 標	()	()	()	(70%以上)	()
		実 績				86.64%	
	【参考指標】 試験栽培により得られた成果を活用し農業指導を行った農家の割合 80%	目 標	()	()	()	()	(80%)
実 績							
進捗状況説明	・農業指導員及び補助員を配置し、主要品目である島ニンジンとバナナ及び特産品である島大根の試験栽培を実施した。 ・推奨品目の検討のため島唐辛子の試験栽培を実施した。 ・バックホーの貸出を行い農業者支援に努めた。						

	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	(栽培試験) ・島ニンジンの栽培試験で、種子の栽培方法の違いによる生育調査を行った。試験は一番花と側枝花からの種子取りによる生育比較の手法で行った。一番花は側枝花と比べ発芽率が高く抽苔率が低い結果となった。 生産現場では、一番花は抽苔率が高く、側枝花から種子をとる習慣がある。しかし、側枝花は種の充実度及び発芽率が低いため、今回の試験を踏まえた反復試験を行い、一番花種子による生育検証を確認する必要がある。島唐辛子の栽培試験では、周年栽培における果実の調査ができたが、2年目の生育がどの程度なのか現場への普及にむけた調査が課題である。	(栽培試験) ・島ニンジンの一の花種子と側枝花種子の生育比較試験において、一番花種子の生育が良い結果であったが、生産現場への普及にむけ反復試験を行い再度検証する必要がある。 ・島唐辛子の周年栽培にむけ2年目株の生育調査を行う必要がある。
	今後の取り組み方針	
・島ニンジンの栽培試験においては、種子の栽培方法の違いによる生育調査の反復試験を実施する。また、島唐辛子の栽培試験では、2年目株と1年目株との生育比較を調査する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)						
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
		11,363	11,354	9,083	2,271	9

中城村
11,354千円

報酬
4,931千円

農業指導員(1名)
農業指導員補助員(1名)
4,931千円

職員手当
1,834千円

農業指導員(1名)
農業指導員補助員(1名)
期末手当981千円
勤勉手当853千円

共済費
1,130千円

農業指導員(1名)
農業指導員補助員(1名)
1,130千円

通勤手当
159千円

農業指導員(1名)
農業指導員補助員(1名)
159千円

需用費
191千円

消耗品
191千円

(対象外経費 9千円)

使用料
2,300千円

土地賃借料
31千円

株式会社 開成
2,269千円

(重機リース料)

備品購入費
809千円

通信運搬費
809千円

資金の 使途の 流れ の 点 検 ・ 評 価 目 ・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○予定していた事業内容はすべて実施され、活動目標・成果目標の達成状況を鑑みて予算額の規模は適切であった。 ○報酬費に増額はあったものの不用額は無く適正な規模であった。 ○費用・使途は、事業完了時の検査において精査しており妥当であったと判断する。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	中城村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-①	PFI導入による地元小規模事業者等経営安定化事業		新・沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第4章-3-(8)-ウ			
担当部署名	教育総務課	事業実施(予定)年度	令和2年度～令和8年度	沖縄振興基本方針該当箇所	建設産業の持続可能な発展			
					Ⅲ-3-(2)			
事業内容	教育施設の再整備及び維持管理にPFIを導入し、地元小規模事業者等の長期にわたる安定的な資金の確保を支援する。							
効果発現年度	☐ 当年度 ☒ 後年度(R9年度)							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			R2年度	R3年度	R3年度(繰越)	R5年度	R6年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	35,000	45,000		14,400	17,963	
		(b)予算現額	21,439	43,417		12,122	17,963	
		(c)増減額(b-a)	▲13,561	▲1,583	0	▲2,278	0	
		(d)繰越額			43,417			
		A.計(b+d)	21,439	43,417	43,417	12,122	17,963	
	B.執行済額		21,439	0	43,417	12,122	17,831	
	うち交付金充当額		15,162	0	34,733	9,697	14,264	
	次年度繰越額			43,417				
	執行率(%) (B/A)		100%	0%	100%	100%	99.3%	
予算の状況の説明		事業計画通り執行することができた						
活動目標(指標)及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
				R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	
	モニタリングの実施		目 標	()	()	(実施)	(実施)	
			実 績			実施	実施	
達成状況説明	毎月SPCと調整を行い、要求水準書や提案書との整合性を確認し、工程の遅れが生じないよう進捗状況の確認を実施した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	R6成果目標(指標)			基準値(年度)	R4年度	R5年度	R6年度	目標値(R9年度)
	教育施設整備に向けた実施設計の完了	目 標	()	()	()	(完了)	()	
		実 績				完了		
	建築工事着手	目 標	()	()	()	(完了)	()	
		実 績				完了		
	【参考指標】利用者の満足度	目 標	()	()	()	()	(80%)	
		実 績						
進捗状況説明	実施設計が完了し、着工前に安全確認を行い建設工事に着手した。 また、毎月現場定例会を行い、工事の進捗状況や適切な施設整備となるよう確認を行った。							

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・実施設計を進めていく中で、要求水準書との整合性確認や各種手続き等、PFI事業を進めるために、適宜調整を行う。 ・物価改定に伴う一時金支払いの変更や資金調達、決算報告など、PFI事業によって生じる調整事項が複数あり、確認を行う必要がある。	・SPC内において、セルフモニタリングを行い情報の共有など共通認識を持たせる。 ・モニタリングを実施し、適宜指示を行い計画的に進める。
今後の取り組み方針		
・建設工事に着手しており、地元企業の育成へと繋げているが、事業を進めることで代表企業の経験等を構築しており、引き続き計画的に事業を進める。 ・進行中の教育施設整備と並行して、新たに教育施設整備を行うSPCが設立され、基本設計に着手することから、それぞれにおいて適切にモニタリングを行う		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>17,831</td><td>17,831</td><td>14,264</td><td>3,567</td><td>0</td></tr> </table> 中城村 17,831千円 委託料 17,831千円 (株)建設技術研究所 17,831千円 中城村立小学校整備事業 設計・建設モニタリング支援業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	17,831	17,831	14,264	3,567	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
17,831	17,831	14,264	3,567	0										
資金の流 れ・費 目・ 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は公募型プロポーザルにより選定しており、妥当であったと考える。 ○予算規模については、適正な規模であったと考えている。 ○事業目的達成の観点から、事業は適切に実施されており適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	中城村							
令和6年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	7-②	中城村中学生平和体験学習事業			新・沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第4章-4-(1)-(イ)		
担当部署名	企画課	事業実施 (予定)年度	令和5年度～ 令和13年度	沖縄振興基本方針 該当箇所	沖縄戦の実相・教訓の次世代 継承			
事業内容	中城中学校全生徒を対象とした平和体験学習(校外学習)を実施し、平和や戦争について考える機会を与える。学年ごとでコース内容が異なり、段階的に各地域で起こった戦争について学べるプログラム内容とする。							
効果発現年度	■当年度 □後年度(年度)							
実施方法	□直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他()							
予算額・ 執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			R5年度	R6年度				
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	2,503	2,500				
		(b)予算現額	2,503	2,805				
		(c)増減額(b-a)	0	305	0	0		
		(d)繰越額	0					
		A.計(b+d)	2,503	2,805	0	0		
	B.執行済額		2,490	2,805				
	うち交付金充当額		1,992	2,244				
	次年度繰越額							
	執行率(%) (B/A)		99.5%	100.0%	#DIV/0!	#DIV/0!		
予算の状況の説明		当初予算どおり適正執行できた。						
活動目標 (指標) 及び達成状況	R6活動目標(指標)		達成状況					
			R5年度	R6年度	R7年度	R8年度		
	平和学習の計画的な実施		目 標	(実施)	(実施)	()	()	
			実 績	実施	実施			
達成 状 況 説 明	中学校との連携により、学習効果の高いコースの検討や実施時期の決定を行い、プロポーザルによる専門的な見識も取り入れた平和学習が実施できた。							
成果目標 (指標) 及び進捗状況	R6成果目標(指標)		基準値 (年度)	R5年度	R6年度	R7年度	目標値 (年度)	
	平和体験学習を今後も継続して実施した方が よいか(80%以上)を含め、参加した中学生・教 員へアンケートを実施し、本事業のあり方を検 証する。		目 標	()	(80%)	(80%)	()	()
			実 績		98%	98%		
	進 捗 状 況 説 明	アンケートの結果、目標達成することができた。 ・学習の理解度で「よくできた」「できた」を選択したのは98.8% ・コース内容の満足度で「とてもよかった」「よかった」を選択したのは90.9% ・ガイド説明の理解度で「よく理解できた」「理解できた」を選択したのは95.9% ・事業継続について「今後も継続した方がよい」を選択したのは97.8%						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	学校側の意見も取り入れつつ、プロポーザルによる専門的な見識も取り入れた学習を行うことにより、高い水準で目標を達成することができたと考えられる。アンケートの結果、比較的低い数値となったコース内容の満足度については、天候によるコース変更を理由とするものが多く、次いで資料館での見学時間など時間配分に関するものであった。	雨天時の対応や見学時間の配分について、事前に学校と十分な協議を行うとともに、プロポーザルでの評価の見直し検討など取り組みを進め、さらなる満足度向上を図る。
今後の取り組み方針		
アンケート結果からも、今後も十分な事業成果が見込めるため、長期的な取り組みとして引き続き実施していく。 学校との事前協議にて、見学時間の配分に加え、雨天時も対応可能な点を勘案したコース案を検討するとともに、プロポーザルにおいても雨天時の対応を具体的に求め、かつプロポーザルにおける雨天時対応の評価点割合を上げるなど対応を検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,805</td><td>2,805</td><td>2,244</td><td>561</td><td>0</td></tr> </table> 中城村 2,805千円 → 委託料 2,805千円 → 株式会社サン・エージェンシー 2,805千円 令和6年度中城村中学生 平和体験学習事業委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,805	2,805	2,244	561	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,805	2,805	2,244	561	0										
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先はプロポーザルにより選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は発生せず、適正な規模であった。 ○費目・使途については、額の確定時において支出等に関する書類により、確認し、適正であることを確認した。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												